

絵画や手芸など
障害者の作品展

19日まで静岡

第45回県障害者文化
作品展（県身体障害者
福祉会主催）が14日、
静岡市葵区の県総合社会
福祉会館で始まっ
た。19日まで。

富士山などの風景を
題材にした絵、家族の
笑顔撮影した写真、
洋服やバッグなどの手
芸作品のほか、書、彫
刻、工芸などが並ぶ。
初日は作品の審査を行
い、入賞作を決めた。
最優秀賞（県健康福
祉部長賞）は次の通り。
絵画 盛永恵美子
（伊東市）▽書道 小



絵画や書、工芸品などの力作が並ぶ県障害者文化作
品展＝14日午後、静岡市葵区の県総合社会福祉会館

野田五三（静岡市）▽（焼津市）▽工芸 大
写真 鈴木英行（島田）坂啓子（静岡市）▽手
市）▽彫刻 鈴木美祥 芸 朱雀文字（同）

多彩な書や生け花
葵区で県障害者展

県障害者文化作品展が十
四日、県総合社会福祉会館
（静岡市葵区）一階で始ま
った。十九日まで。

書や写真など多彩な作品が
並ぶ会場＝静岡市葵区で



八人が一点ずつ出品。県身
体障害者福祉会の岩瀬輝美
会長は「いずれも一生懸命
取り組んだ作品ばかり。多
くの人に鑑賞してほしい」
と呼び掛けた。

書や生け花など多彩な作
品が並ぶ。パーキンソン病
の女性は千支の置物の手芸
品を制作。毎年一種類ずつ
作り、完成まで十二年かか
ったという。

書作品「必勝」を出展し
た視覚障害の女性は「視力
が低下して筆にどの程度墨
が付いているかわからない
が、筆を持った手を先生が
つかんで一緒に書いてくだ
さったことを覚えて、一人
で書いた」と紹介した。

（三宅千智）